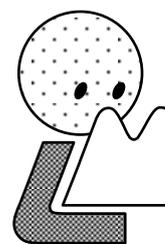


# 絵本の世界へ③

～大きくなっても（6歳ぐらいから）～

大阪市立図書館 2009



**あたらしい ぼく** シャーロット・ゾロトウ著 エリック・ブレグヴァド絵 みらい なな訳

童話屋 24cm 30p 0000233061

家の中も、家族や友だちもいつもどおりなのに、何かが違う気がします。昔集めた貝がらを見て、美しいと感じるのも初めてです。今までと違う新しい自分に気づいた思春期の少年を描きます。

**アンディとらいおん** ジェームズ・ドーハーティ著・絵 むらおか はなこ訳

福音館書店 27cm 78p 0000231840

ライオンの本に夢中のアンディは、学校へ行く途中で本物のライオンに出会います。アンディは、ライオンの手にささったとげを抜いてあげて、仲良くなりました。

**いつもちくのおとこのこ** —ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー— ジョン・バーニンガム著・絵

たにかわ しゅんたろう訳 あかね書房 26cm 32p 0070008877

ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシーは急いで学校にでかけます。けれどワニにつかまったり、高潮にさらわれたりして、遅刻ばかり。理由を話しても、先生はちっとも信じてくれません。

**おじさんのかさ** 佐野洋子著・絵 講談社 31cm 31p 0000263060

おじさんはとても立派なかさを持っていました。あんまり大切にしていたので、雨がふってもさしませんでした。ところがある雨の日、「あめがふったらポンポロロン……」という歌をおじさんは聞きました。

**おまたせクッキー** パット・ハッチンス著・絵 乾 侑美子訳 偕成社 21cm 24p 0000193120

ビクトリアとサムが、クッキーを食べようとしていると、友だちがやってきました。みんなで分けようとすると次々に人数が増えて、ひとり分の数が減っていき……。意外な結末が楽しめます。

**かもさんおとおり** ロバート・マックロスキー著・絵 わたなべ しげお訳

福音館書店 31cm 64p 0000226424

カモの夫婦は、ヒナたちを連れて、引っ越すことにしました。車でいっぱいの大通りを渡ろうとして、大騒動に。親切なお巡りさんたちの助けで、全員無事に公園の池へたどりつくまでを描いています。

**きょうりゅうくんとさんぽ** シド・ホフ著・絵 いぬい ゆみこ訳 ペンギン社 22cm 64p 0000165434

恐竜の大好きな男の子ダニーが、博物館へ行っていて見ていると、恐竜が話しかけてきました。ふたりは町の中を散歩して回り、広場ではみんなと遊び、とても楽しい1日を過ごしました。

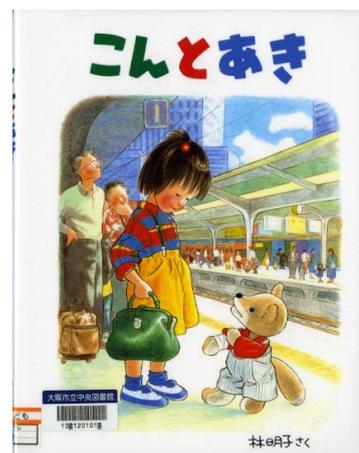
**こぎつねコンとこだぬきポン** 松野正子著 二俣英五郎絵

童心社 25cm 46p 0000173916

コンとポンと一緒に遊びたいのに、タヌキと友だちになってはダメ、キツネと遊んではダメと叱られます。けれどもある日、二人はばけっこをしていて、入れ替わって家に帰ります。読み応えのあるお話です。

**こんとあき** 林 明子著・絵 福音館書店 28cm 39p 0000142189

ぬいぐるみのこんは、あきが赤ちゃんの時からずっと一緒です。でも、だんだん古くなりほころびてきたので、おばあちゃんに直してもらうため、二人は汽車で旅することになりました。



## さむがりやのサンタ レイモンド・ブリッグズ著・絵 すがはら ひろくに訳

福音館書店 26cm 32p 0000226422

クリスマスイブの朝、サンタは文句を言いながら、寒そうに起きだし、ソリの準備をします。街の人々が眠っている間に、プレゼントを配る様子を、カラフルな絵とマンガのようなコマ割りで描いています。

## ぞうのババール ジャン・ド・ブリュノフ著・絵 やがわ すみこ訳 評論社 28cm 48p 0000226630

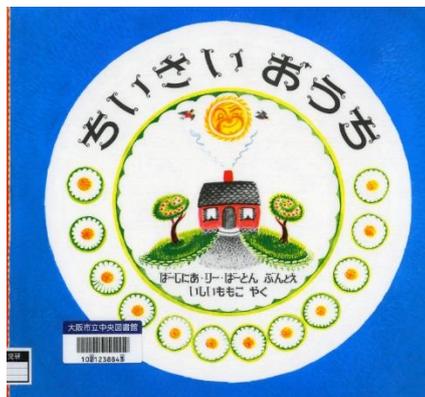
森にすむ子象のババールは、狩人に追われ、街にたどりつきました。何もかもが珍しく、ババールは好奇心いっぱいです。洋服をあつらえ、写真をとるなど、街の暮らしを楽しみますが、やがて森に帰ってゾウの王様になります。

## ちいさいおうち

バージニア・リー・パートン著・絵 いいい ももこ訳

岩波書店 24×25cm 40p 0010376695

ちいさいおうちは、静かな田舎の丘の上から、周りの景色をながめて暮らしてきました。ある日車があらわれ、道路や建物が次々とでき、周囲はにぎやかな都会に変わりました。ちいさいおうちは、ひとりぼっちで田舎のことを夢に見ます。



## ひとまねこざる H. A. レイ著・絵 光吉夏弥訳 岩波書店 21cm 47p 0000660413

しりたがりやのこざるのジョージは、あるとき鍵をぬすんで動物園から逃げ出しました。街はおもしろいことがいっぱい、つつい知りたがりすぎて手をだして、大騒動を引き起こしてしまいます。

## フランスのいえで ラッセル・ホーバン著 リリアン・ホーバン絵 まつおか きょうこ訳

好学社 26cm 29p 0013012133

妹が生まれておもしろくないフランスは、晩ご飯の後で食堂のテーブルの下に家出しました。お父さんとお母さんは、居間でさびしがってみせます。その話を聞いていたフランスは、二人のもとへ戻ることにしました。

## ペレのあたらしいふく エルサ・ベスコフ著・絵 おのでら ゆりこ訳

福音館書店 24×32cm 16p 0000237460

ペレは子羊の毛を刈り、その毛をすいてもらうかわりに、にんじん畑の草取りをしました。がんばって働く少年に大人たちも手を貸してやり、彼が念願の新しい服を手に入れるまでが描かれます。

## ものぐさトミー ペーン・デュボア著・絵 松岡享子訳 岩波書店 21cm 44p 0000266460

トミー・ナマケンボは、とてもなまけもの。電気じかけの家に住み、お風呂や着替え、食事の世話を機械にしてもらっています。ある日、停電で調子がくるった機械のせいで、彼はたいへんな目にあいます。

## ゆうかななアイリーン ウィリアム・スタイグ著・絵 おがわ えつこ訳

セーラー出版 27cm 31p 0070007649

風邪をひいたお母さんの代わりに、アイリーンがお屋敷に注文のドレスを届けることになりました。ところが外はひどい吹雪で、風はますます強くなります。そしてとうとうドレスが風にさらわれて……。

## ルラルさんのにわ いたう ひろし著・絵 ポプラ社 24cm 32p 0010144878

芝生の庭が自慢のルラルさんは、誰かが庭に入ろうとすると、得意のぱちんこで追い払います。ある朝、丸太のようなワニを見つけたルラルさんは追い払おうとしますが、ワニは思いがけないことをします。

## ろくべえまってるよ 灰谷健次郎著 長 新太絵 文研出版 29cm 30p 0000173442

穴に落ちてしまった犬のろくべえを、子どもたちは一所懸命助けようとします。ろくべえを元気づけようと、みんなで考えたいろいろなことを試してみますが、なかなかうまくいきません。